

個別診断的判定の内容一部変更

8月1日より「特異傾向」の内容が変更になります。

いつも内田クレペリン検査をご利用いただき、ありがとうございます。このたび個別診断的判定の内容を一部変更することになりましたので、お知らせします。

具体的には「特異傾向」の項目の内容と順番が変わります。下の図にあるとおり、これまで「9 あせりによる変調」と「10 りきみすぎによる変調」としていた二つの項目が「10 あせり・りきみ」という一つの項目にまとまります。この変更にともない、他の項目の順番も変更になっております。

特異傾向の項目をご活用くださっているお客様におかれましては、ご迷惑をおかけすることになってしまい恐縮です。8月以降、判定結果をご利用いただく際には読み間違いなど十分にご注意いただければ幸いです。

変更前（2019年7月31日まで）

変更後（2019年8月1日から）

2 **特異傾向**

性格や行動面での強いかたよりや不適切な行動につながりやすい傾向または状態を示します。ただし、特異傾向の指標があっても総合判定が定型群の場合は、極めて軽度なのであまり問題にならないでしょう。△印は、当該特異傾向が軽度であることを意味します。

1 抑制作用の減退	7 発動（とりかかり）の障害
2 気持ちや動作の一時的な停滞	8 気力の衰弱
3 気持ちや動作の一時的なたかぶり	9 あせりによる変調
4 情意の不安定	10 りきみすぎによる変調
5 感動性の不足	11 固執（こだわり）傾向
6 反発・不熱心	

あり

なし

あり

なし

1 気持ちや動作の一時的な停滞	6 気力の衰弱
2 気持ちや動作の一時的なたかぶり	7 抑制作用の減退
3 情意の不安定	8 固執（こだわり）傾向
4 感動性の不足	9 反発・不熱心
5 発動（とりかかり）の障害	10 <u>あせり・りきみ</u>

一覧表と CSV ファイルも変更になりますのでご注意ください。

		特異傾向										性
? 今回は特定できない	1 気持ちや動作の一時的な停滞	2 気持ちや動作の一時的なたかぶり	3 情意の不安定	4 感動性の不足	5 発動（とりかかり）の障害	6 気力の衰弱	7 抑制作用の減退	8 固執（こだわり）傾向	9 反発・不熱心	10 あせり・りきみ	なし	発動性
	△										4	

CSV ファイルはとくに注意!

CSV ファイルをご利用のお客様におかれましては、スプレッドシートなどで過去の判定データを合体させる際にはとくにご注意ください。

7月以前のデータと8月以降のデータをそのまま合体させると、特異傾向の列の順番がズれてしまいます。